

第45回 日本核医学会総会資料

日 時	理 事 会	平成 17 年 11 月 10 日 12:00 ~ 15:30
	評議員会	11 月 10 日 16:00 ~ 17:00
	総 会	11 月 12 日 16:10 ~ 17:10
場 所	タワーホール船堀・ホテルイースト 21	
会 長	日下部 きよ子	

議 案

- | | |
|--|--|
| I. 平成 16 年度事業報告および収支決算報告 | ・第 13 回 17 年 5 月 14 日 北海道大会
(油野民雄大会長) |
| II. 平成 17 年度事業計画および収支予算案 | (4) 臨時 PET 研修セミナー |
| III. 平成 20 年開催第 48 回学術総会会長
選任 | 17 年 1 月 8 日・9 日 横浜・パシフィコ横
浜アネックスホール |
| IV. 中間法人設立 | (5) 地方会活動(開催順) |
| V. 次々次期会長選出に伴う細則改正 | 第 56 回北日本 16.11.12 |
| VI. 新役員承認 | 第 62 回関東甲信越 17.1.22 |
| VII. 各賞贈呈 | 第 60 回中部 17.2.26 |
| 日本核医学会賞 | 第 40 回九州 17.2.27 |
| 日本核医学会研究奨励賞 | 第 20 回北海道 17.5.21 |
| 日本核医学会機関誌論文賞 | 第 57 回北日本 17.6.4 |
| Asia and Oceania Distinguished Young
Investigator's Award | 第 40 回中国・四国 17.7.1-2 |
| VIII. 名誉会員証・感謝状贈呈 | 第 61 回中部 17.7.2 |
| | 第 63 回関東甲信越 17.7.9 |
| | 第 38 回近畿 17.7.9 |
| I. 平成 16 年度事業報告および収支決算報告 | (6) 分科会活動 |
| A. 事業報告 | 1. 腫瘍・免疫核医学研究会(担当理事阪原晴
海, 代表世話人久保敦司) |
| 1. 学術集会, セミナー, 講習会等の開催 | 第 38 回 17 年 7 月 23 日 仙台 |
| (1) 第 45 回学術集会を 17 年 11 月 11 日から 13
日東京・タワーホール船堀にて日下部きよ子会長
主宰のもとに開催. | 2. 日本脳神経核医学研究会(担当理事中川原
譲二, 運営委員長飯田秀博) |
| (2) 第 5 回春季合同セミナーを 17 年 5 月 27 日
から 29 日愛知・名古屋国際会議場にて今枝孟義
大会長主宰のもとに開催. | 第 6 回 17 年 11 月 13 日 東京 |
| 1) 初心者のための核医学講習会 | 3. 日本心臓核医学会(担当理事大鈴文孝, 理
事長西村恒彦) |
| 2) 核医学専門医教育セミナー | 第 13 回 17 年 3 月 18 日 横浜 |
| 3) PET 研修セミナー | 第 14 回 17 年 11 月 13 日 東京 |
| (3) 核医学実践セミナー | 4. 呼吸器核医学研究会(担当理事井上登美夫,
代表幹事榎林勇) |
| ・第 12 回 16 年 11 月 27 日 福島大会 | 第 12 回 17 年 5 月 14 日 高松 |
| (宍戸文男大会長) | 第 13 回 17 年 11 月 13 日 東京 |

(7) 共催・協賛・後援

- ・日本放射線技術学会市民公開シンポジウム「病院における放射線の被ばくを考える」(16年11月14日 札幌医科大学臨床教育研究棟大講堂)後援
- ・第24回医療情報学連合大会(16年11月26-28日 名古屋国際会議場)協賛
- ・第4回重粒子医科学センターシンポジウム(16年12月16-17日 放射線医学総合研究所大会議室)後援
- ・第14回放射線利用総合シンポジウム(17年1月21日 大阪市建設交流館)協賛
- ・放射線医学総合研究所講演会「次世代PET装置開発の意義」(17年1月24日 放射線医学総合研究所)後援
- ・第43回原子力総合シンポジウム(17年5月26-27日 東京 日本学術会議講堂)共催
- ・第42回理工学における同位元素・放射線研究発表会(17年7月6-8日 日本青年館)共催
- ・第24回医用画像工学会大会(17年7月26-27日 東京 東京大学安田講堂)協賛
- ・Molecular Imaging 研究会(17年11月13日 東京 タワーホール船堀)協賛

2. 会誌その他研究資料刊行

- (1) 核医学 41巻3-4号 42巻1-2号 計4冊 総頁数514頁, 論文数10編
- (2) Annals of Nuclear Medicine Vol. 18 No. 6-8 Vol. 19 No. 1-5 計8冊 総頁数684頁, 論文数109編

3. 日本核医学会専門医審査

- (1) 第2回専門医試験実施
17年6月5日実施(会場日本アイソトープ協会)し, 受験申請者26名中24名を合格とした.
- (2) 専門医(認定医)更新審査
専門医更新申請のあった187名, 専門医更新の保留・延期願いのあった10名, および終身認定医から専門医への変更申請のあった6名を承認した.

(3) 専門医教育病院審査

18病院を新規認定し, 140病院の認定を更新し, 1病院の認定を保留とした.

(4) PET 認定医審査

PET 認定医申請のあった495名を認定し, 1名を保留とした.

(5) 学術集会の審査

申請のあった4集会を認定した. なお認定された4集会の出席者に以下の点数を与えることとした.

九州 PET 研究会	3点
関西脳 SPECT 研究会	3点
心臓核医学懇話会	3点
九州心臓核医学研究会	3点

(6) 専門医制度の検討

「日本核医学会専門医制度に関する規定」の更なる変更

「日本核医学会専門医制度研修カリキュラム」の作成

「PET 核医学認定医制度」の発足

4. 日本核医学会賞等授賞

- (1) 第1回日本核医学会研究奨励賞 最優秀賞
16年11月4日第44回学術集会において研究奨励賞受賞者3名の中から下記1氏に決定した.
伊藤 浩氏
- (2) 第44回日本核医学会賞
17年8月29日理事会において応募3名の中から下記2氏に決定した.
中本裕士氏, 百瀬 満氏
- (3) 第2回日本核医学会研究奨励賞
17年8月29日理事会において応募7名の中から下記3氏に決定した.
小川美香子氏, 田代 学氏, 銭谷 勉氏
- (4) 2005年日本核医学会機関誌論文賞
16年発行の核医学41巻およびANM18巻原著論文中より, 優秀論文1編を2005年機関誌論文賞に選出した.
石守崇好論文(ANM18巻669-674)
- (5) 2005 Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award は, 下記4氏に決定した.

Chih Fung Lam, Kyung-Hoon Hwang,
Bishnuhari Paudyal, Andrej Lyshchik

5. 庶務報告

(1) 臨時総会・臨時評議員会開催

臨時総会・臨時評議員会を17年5月27日名古屋国際会議場で開催。

(2) 総会開催

第45回総会を17年11月12日タワーホール船堀で開催。

(3) 評議員会開催

評議員会を17年11月10日ホテルイースト21で開催。

(4) 学術集会の名称変更

平成18年より、「日本核医学会総会」を「日本核医学会学術総会」、「春季合同セミナー」を「日本核医学会春季大会」に名称変更する。

(5) 会員数(17年8月31日現在)

正会員	3,357名
前年度	3,207名
新入会	303名
学生会員に変更	0名
退会	153名
賛助会員	25社(48口)
学生会員	52名
前年度	56名
新入会	7名
正会員に変更	3名
退会	8名

物故会員(敬称略)

熊取敏之, 玉木正男, 滝野 博,
石田 修, 正津 晃, 牧野宣一,
川原勝彦, 豊田 肇

(6) 評議員・理事・監事選挙施行

1. 評議員(161名)17年4月30日締切

(選挙権者数2670)5月10日開票
(投票総数1104,有効1092,無効12)

5月20日理事会にて推薦評議員19名を追加承認

2. 理事(9名)17年6月24日締切

(選挙権者数161)7月4日開票

(投票者総数144,有効票574,無効票2)

7月6日メール理事会にて承認

3. 監事(2名)17年8月20日締切

(選挙権者数161)8月29日開票

(投票者総数138,有効票270,無効票6)

8月29日理事会にて承認

(7) 平成18年開催第46回学術総会会長の選出

現評議員179名の推薦投票(86)をもとに,理事会で推薦し,評議員会,第44回総会(16.11.5)の承認を得て,第46回学術総会会長に中條政敬氏が決まった。

平成19年開催第47回学術総会会長の選出

現評議員179名の推薦投票(76)をもとに,理事会で推薦し,評議員会,第44回総会(16.11.5)の承認を得て,第47回学術総会会長に福田寛氏が決まった。

(8) 名誉会員推薦

下記の1氏が名誉会員に推薦され承認された。
油井信春(敬称略)

(9) 功労会員推薦

下記の7氏が功労会員に推薦・承認され,総会終了後功労会員証が贈られた。

館野之男,高橋 豊,森田陸司,
梶田明義,黒川由一,斎藤俊孝,
堀田とし子(敬称略)

(10) 理事会,役員会等および委員会

理事会

4回(17年1月24日ルビーホール,17年5月20日アジュール竹芝,8月29日ルビーホール,11月10日ホテルイースト21)

幹事会(委員6名)

核医学技術学会との連携,春季合同セミナーのあり方,学会の活性化等について検討を行った。

編集委員会(委員8名)

玉木長良委員長のもとに核医学およびANM投稿論文の審査と編集作業を行った。オンライン査読システム化について検討を行った。

教育・専門医審査委員会(委員15名)

油野民雄委員長のもとに日本核医学会専門医・専門医教育病院・PET認定医の審査およ

びPET核医学認定医制度新設を含めた専門医制度の検討，教育講演の検討を行った。

PET核医学委員会(委員13名)

伊藤健吾委員長のもとに，PET核医学認定医制度の新設，PET検査に関する諸問題の検討と対外活動を行った。

「陽電子断層撮影診療に関する所定の研修」として，臨時PET研修セミナー・PET研修セミナーを開催した。

健保委員会(委員10名)

久保敦司委員長のもとに健保問題の検討と対外活動を行った。

広報委員会(委員14名)

尾川浩一委員長のもとにホームページ等で広報活動を行った。科研費で，CD-ROM版核医学データベース，ANMアブストラクト，デジタルビデオコンテンツ集を作成した。

法人化対応委員会(委員4名)

利波紀久委員長のもとに中間法人化にむけて定款・細則の作成および諸問題の検討と対外活動を行った。

リスクマネジメント委員会(委員7名)

竹田寛委員長のもとに核医学に関する臨床現場および核医学全般に関するリスクマネジメントについて検討を行った。

標榜科推進委員会(委員3名)

玉木長良委員長のもとに，核医学専門医についての検討と対外活動(日本専門医認定機構)を行った。

放射線防護委員会(委員5名)

竹田寛委員長のもとに放射線防護に関する諸問題の検討を行った。

放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会(委員6名)

久保敦司委員長のもとに「放射性医薬品臨床評価ガイドライン」を作成した。

学会賞選考委員会(委員7名)

穴戸文男委員長のもとに学会賞，研究奨励賞の受賞者の選考を行った。

倫理検討委員会(委員8名)

井上登美夫委員長のもとに倫理に関する諸

問題の検討を行った。

「日本核医学会の個人情報保護に関する指針」を作成した。

選挙管理委員会(委員8名)

日下部きよ子委員長のもとに評議員選挙，理事選挙，監事選挙を行った。

PET/CTガイドライン作成委員会(委員9名)

井上登美夫委員長のもとに日本医学放射線学会と共同で，「PET/CTガイドライン」を作成した。

核医学イメージングガイドライン作成委員会

穴戸文男委員長のもとに核医学診断ガイドラインの作成のための検討を行った。

(11) ワーキンググループ活動

以下の3ワーキンググループを設置し活動を行った。

1. 包括医療における核医学検査動向の予測調査 外来患者DPCを踏まえて(小須田茂他8名)
2. FDG-PET検査の適正利用に関する検討(窪田和雄他9名)
3. 日本放射線技術学会との核医学用デジタルファントムの作成共同企画(代表尾川浩一)

(12) 対外活動

以下の団体等に委員を出して対外活動を行った。

日本医学会，日本学術会議，内科系学会社会保険連合，日本専門医認定機構，日本アイソトープ協会理工学懇談会，日本医学会医学用語管理委員会，原子力総合シンポジウム，放射線測定器規格化国際委員会，日本医学放射線学会放射線防護委員会・用語委員会・医療事故防止委員会，医療放射線防護連絡協議会，放医研重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会，日本医学教育学会，医療廃棄物検討連絡会，医学放射線物理連絡協議会

国際学会[世界核医学会(WFNM&B)，米国核医学会(SNM)，アジアオセアニア核医学会(AOFNM&B)，日韓中核医学会，アジア地域核医

学分科会 (ARCCNM)]

米国核医学会(2005年6月18日~22日)において,SNM 幹部との合同幹部会を持った.SNM において日米合同教育セッションを開催した.さらに本学会用のブースの提供を受け,広報活動を行った.

(13) 補助金受領

文部科学省より学術刊行物補助

文部科学省より研究成果データベース作成補助

文部科学省より学術誌データベース作成補助

日本医学会より分科会補助

(14) その他

日本医師会医学研究助成費候補者推薦

今回応募なし

B. 収支決算報告

1. 平成16年度日本核医学会収支報告書(別表Ⅰ)

(平成16年9月1日~17年8月31日)

2. 平成16年度日本核医学会財産目録(別表Ⅱ)

(平成17年8月31日現在)

II. 平成17年度事業計画および収支予算案

A. 事業計画

1. 中間法人設立

2. 学術総会, 春季大会等の開催

(1) 第46回学術総会を中條政敬会長のもとに, 18年11月9日から11日鹿児島にて開催.

(2) 第6回春季大会を小須田茂大会長のもとに

18年5月26日から28日大宮にて開催.

・初心者のための核医学講習会

・核医学専門医教育セミナー

・PET研修セミナー

・放射線医薬品調整のための講習会

(3) 地方会活動

(4) 分科会活動

1. 腫瘍・免疫核医学研究会

第39回の開催

2. 日本脳神経核医学研究会

第7回の開催

3. 日本心臓核医学学会

第15回, 第16回の開催

4. 呼吸器核医学研究会

第14回, 第15回の開催

(5) 共催・協賛・後援

・第25回医療情報学連合大会(17年11月24-26日 横浜市 パシフィコ横浜・会議センター)協賛

・日本放射線技術学会市民公開シンポジウム「病院における放射線の被ばくを考える」(17年11月26日 福井市 フェニックス・プラザ)後援

・日本核医学技術学会「PET研修セミナー in 東北」(17年12月3日 盛岡市 岩手医大循環器センター)共催

・放射線医学総合研究所次世代PET研究会「PETの将来を考える」(18年1月19日 東京 法政大学ポアソナードタワー)共催

・第15回放射線利用総合シンポジウム(18年1月27日 大阪市住友クラブ)協賛

・第20回国際コンピューター支援放射線医学・外科学会議CARS2006(18年6月28日-7月1日 大阪市 大阪国際会議場)

・第25回医用画像工学会大会 協賛

・第43回 アイソトープ・放射線研究発表 共催

・第44回原子力総合シンポジウム(18年) 共催

・第5回重粒子医学センターシンポジウム 後援

・Molecular Imaging 研究会 協賛

3. 会誌その他研究資料の刊行

(1) 核医学

(2) Annals of Nuclear Medicine

4. 日本核医学会専門医審査

(1) 第3回専門医試験実施

(2) 専門医(認定医)更新審査

- (3) 専門医教育病院の認定・更新審査
 - (4) PET 認定医審査
 - (5) 学術集会の審査
5. 日本核医学会賞等授賞
- (1) 第 2 回日本核医学会研究奨励賞最優秀賞の選考
 - (2) 第 45 回日本核医学会賞候補者の募集と選考
 - (3) 第 3 回日本核医学会研究奨励賞候補者の募集と選考
 - (4) 2006 年日本核医学会機関誌論文賞の選考
 - (5) 2006 Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award の募集と選考
6. 庶務計画
- (1) 総会開催
第 46 回総会を平成 18 年 11 月 10 日鹿児島において開催。
 - (2) 評議員会開催
評議員会を平成 18 年 11 月 9 日鹿児島において開催。
 - (3) 平成 21 年開催第 49 回学術総会会長 推薦投票(評議員)
 - (4) 名誉会員・功労会員推薦
 - (5) 委員会等開催
編集委員会
教育・専門医審査委員会
PET 核医学委員会
健保委員会
広報委員会
法人化対応委員会
リスクマネジメント委員会
標榜科推進委員会
放射線防護委員会
学会賞選考委員会
倫理検討委員会
核医学イメージングガイドライン作成委員会
放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会

- (6) ワーキンググループ活動
- (7) 対外活動

以下の団体等に委員を出して対外活動を行う。

日本医学会, 日本学術会議, 内科系学会社会保険連合, 日本専門医認定機構, 日本アイソトープ協会理工学懇談会, 日本医学会医学用語管理委員会, 原子力総合シンポジウム, 放射線測定器規格国際委員会, 日本医学放射線学会放射線防護委員会・用語委員会・医療事故防止委員会, 医療放射線防護連絡協議会, 放医研重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会, 日本医学教育学会, 医療廃棄物検討連絡会, 医学放射線物理連絡協議会

国際学会[世界核医学会(WFNM&B), 米国核医学会(SNM), アジアオセアニア核医学会(AOFNM&B), 日韓中核医学会, アジア地域核医学分科会(ARCCNM)]

- (8) 推薦
日本医師会医学助成費候補者推薦

B. 平成 17 年度収支予算案(別表 III)

III. 平成 20 年開催第 48 回学術総会会長 選任

IV. 中間法人設立

V. 次々次期会長選出に伴う細則改正

VI. 新役員承認

VII. 各賞贈呈

日本核医学会賞
日本核医学会研究奨励賞
日本核医学会機関誌論文賞
Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award

VIII. 名誉会員証・感謝状贈呈